

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2000-60949
(P2000-60949A)

(43) 公開日 平成12年 2 月29日 (2000. 2. 29)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テマコード* (参考)
A 6 1 L 9/00		A 6 1 L 9/00	Z 2 E 2 0 3
// B 6 0 R 25/00	6 0 6	B 6 0 R 25/00	6 0 6 4 C 0 8 0
25/10	6 1 7	25/10	6 1 7
E 0 5 B 49/00		E 0 5 B 49/00	J

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平10-235384

(22) 出願日 平成10年 8 月21日 (1998. 8. 21)

(71) 出願人 000004765

カルソニック株式会社

東京都中野区南台 5 丁目24番15号

(72) 発明者 矢島 敏雄

東京都中野区南台 5 丁目24番15号 カルソ
ニック株式会社内

(74) 代理人 100097180

弁理士 前田 均 (外 1 名)

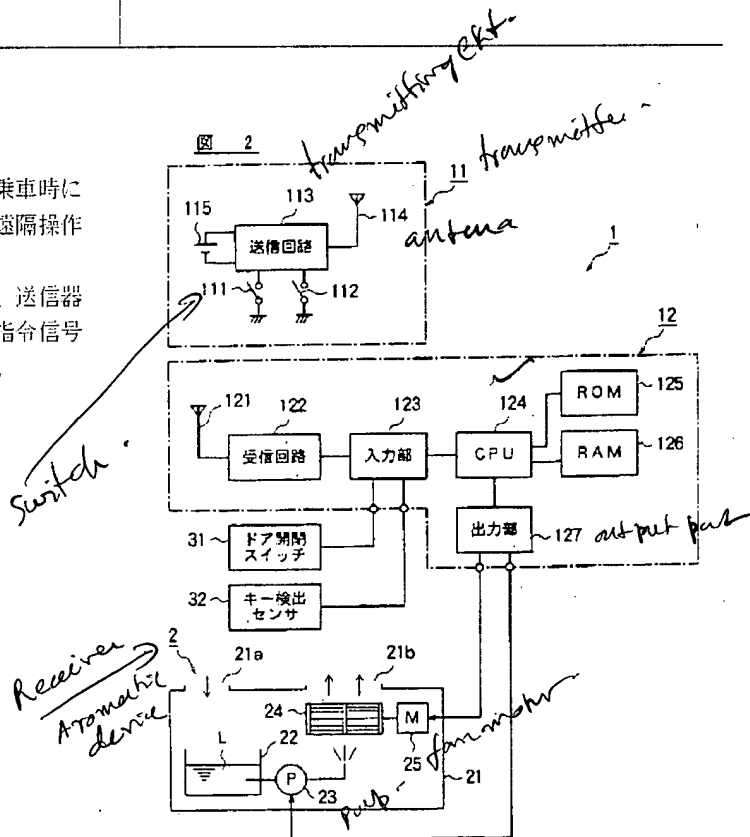
Fターム(参考) 2E203 AA22 BB08 BB15 DD06 FF24
FF36
4C080 AA03 BB02 BB03 CC12 QQ11
QQ20

(54) 【発明の名称】 車両用遠隔操作装置

(57) 【要約】

【課題】乗車前に脱臭または芳香させることで乗車時には快適な室内空間とすることができる「車両用遠隔操作装置」を提供する。

【解決手段】操作信号を発信する送信器 1.1 と、送信器からの操作信号を受信し操作信号に応じた駆動指令信号を芳香装置 2 へ出力する受信器 1.2 とを備える。



【特許請求の範囲】

【請求項1】操作信号を発信する送信器と、前記送信器からの操作信号を受信し前記操作信号に応じた駆動指令信号を脱臭機能および／または芳香機能を有する車載装置へ出力する受信器とを備えたことを特徴とする車両用遠隔操作装置。

【請求項2】前記受信器は、前記車載装置の脱臭剤または芳香剤の残量の検出信号を前記送信器へ発信し、前記発信器は、前記残量の検出信号を受信してこれを表示することを特徴とする請求項1記載の車両用遠隔操作装置。

【請求項3】前記受信器は、車両の駐車および無人状態を検出したときに、前記車載装置の作動を許可することを特徴とする請求項2記載の車両用遠隔操作装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、車室内の消臭または芳香を遠隔操作できる車両用遠隔操作装置に関し、限定はされないが、ドアロックの施解錠、盗難警報のセット／リセット、盗難警報監視、エンジンの始動／停止、トランクオープナ、オートライトキャンセルなどの遠隔操作をも併せ持つ車両用遠隔操作装置に関する。

【0002】

【従来の技術および発明が解決しようとする課題】この種の車両用消臭装置または芳香装置は、車室内に単独に設けられたものあるいはエアコンに内蔵されたものが知られているが、何れも操作者が乗車してからスイッチを入れるため、消臭装置にあっては乗車してから脱臭するまでのしばらくの間は室内の悪臭を我慢する必要がある。また芳香装置にあっては、乗車してから芳香剤を噴霧するため、その臭いが強すぎてしばらくの間は不快感を感じることも少なくない。

【0003】本発明は、このような従来技術の問題点を鑑みてなされたものであり、乗車前に脱臭または芳香させることで乗車時には快適な室内空間とすることができる車両用遠隔操作装置を提供することを目的とする。

【0004】

【課題を解決するための手段】〔1〕 上記目的を達成するために、本発明の車両用遠隔操作装置は、操作信号を発信する送信器（11）と、前記送信器からの操作信号を受信し前記操作信号に応じた駆動指令信号を脱臭機能および／または芳香機能を有する車載装置（2）へ出力する受信器（12）とを備えたことを特徴とする。

【0005】本発明の車両用遠隔操作装置では、脱臭機能および／または芳香機能を有する車載装置を遠隔操作できるので、乗車する前または後にその車載装置を作動させておけば、乗車する際には室内が十分に脱臭または芳香されることになる。したがって、乗車時に異臭を感じたり、あるいは乗車後に芳香剤が強すぎて不快感をおぼえたりすることを防止できる。

【0006】本発明の車両用遠隔操作装置により操作される車載装置は、少なくとも脱臭機能または芳香機能を有する車載装置であり、他のたとえばエアコンに内蔵されたものの他、単独で搭載されたものも含まれる。こうした脱臭装置または芳香装置の具体的構成は特に限定されず、種々のものを用いることができる。

【0007】また、本発明の車両用遠隔操作装置は、脱臭・芳香装置を遠隔操作する以外に、たとえば、ドアロックの施解錠を行うドアロック装置、自車両が盗難等に遭遇したときに警報を発する盗難警報装置、エンジンの始動および停止を行うエンジン始動装置、トランクオープナ装置などをも操作できるようにしても良い。

【0008】〔2〕 上述した本発明の車両用遠隔操作装置においては、少なくとも送信器から受信器へ操作信号が発信される一方向送信であれば良いが、これを両方向送信とすることもできる。

【0009】たとえば、請求項2記載の車両用遠隔操作装置では、前記受信器（12）は、前記車載装置（2）の脱臭剤または芳香剤（L）の残量の検出信号を前記送信器（11）へ発信し、前記発信器は、前記残量の検出信号を受信してこれを表示することを特徴とする。

【0010】車載装置側の検出信号を送信器側へ発信して表示することで、乗車していなくても脱臭または芳香機能の有無を認識することができる。ちなみに、受信器側から送信器側へ送られる車載装置の情報は、脱臭剤・芳香剤の残量以外にも、たとえばファンの駆動状態やフィルタの目詰まり状態などを挙げることができる。

【0011】〔3〕 さらに、本発明においては、請求項3記載の車両用遠隔操作装置のように、前記受信器（12）は、車両の駐車および無人状態を検出したときに前記車載装置の作動を許可するように構成しても良い。

【0012】このようにインターロックをとっておけば、送信器を携帯した者が、走行中に誤って芳香剤を噴射したりすることを防止することができる。

【0013】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施形態を図面に基づいて説明する。図1は本発明の車両用遠隔操作装置の実施形態を示す概念図、図2は同じくブロック図であり、まず、本実施形態の車両用遠隔操作装置1は、ユーザが携帯する送信器11と、車両3に取り付けられる受信器12とからなり、車両3のたとえばリヤパーセルなどに搭載された芳香装置2を遠隔操作する機能を有するものである。

【0014】ただし、本発明の車両用遠隔操作装置は、こうした芳香装置2や脱臭装置にしか適用できない訳ではなく、ドアの施解錠を遠隔操作する機能や、車両が盗難されたときにホーンを鳴らすと同時にクリアランスランプおよびルームランプを点滅させて周囲に喚起するといった盗難警報機能の他、エンジンの始動および停止を

行うエンジン始動装置やトランクオープン装置などにも必要に応じて併せ持つことができる。

【0015】本実施形態に係る送信器11にあっては、そのハウジングケースの外面に、ONスイッチ（またはボタン）111と、OFFスイッチ（またはボタン）112とが設けられており、これらのスイッチ111、112はハウジングケース内に収納された送信回路113に接続されている。送信回路113は、ONスイッチ111またはOFFスイッチ112の何れかが入力されたときに、自己固有のIDコードデータとともにその入力された操作信号を無線信号に変調し、アンテナ114を介して発信させるものである。なお、送信器11のハウジングケースには、送信回路113の駆動用電池115も設けられている。

【0016】これに対して、本実施形態に係る受信器12は、無線信号を受信するためのアンテナ121と、このアンテナ121で受信された無線信号を制御信号に復調するための受信回路122とを有している。アンテナ121は、図1に示されるようにたとえば車室内のリヤパーセルなどに設置され、受信回路122以降はユニット化されて、たとえばトランクルーム内に設置されている。

【0017】また受信器12は、受信回路122および車両側の各種センサからの信号を取り込むための入力部123と、各種の論理回路が格納されたROM125と、登録すべきIDコードを記憶するためのRAM（たとえばSRAM）126と、入力部123から入力されたデータをROM125に格納された論理回路に基づいて演算し、その結果をRAM126または出力部127へ出力する中央演算処理装置CPU124とを有している。

【0018】受信器12の入力部123の接続端子には、車両3側に設けられたドア開閉スイッチ31とキー検出センサ32とが接続されている。ドア開閉スイッチ31は、全てのドアの開閉状態を検出するセンサであって、キー検出センサ32との組み合わせによって、盗難警報モードにおける盗難状態の判断や、駐車中であって無人状態の判断に用いられ、芳香装置2はなるべく乗車時以外に作動するように制御を実行するための許可信号としても用いられる。

【0019】なお、ドア開閉スイッチ31は、車両用計器へのドア開閉表示やルームランプの点灯、あるいはキーの抜き忘れ警報などに用いられているので、これを共用することができる。また、キー検出センサ32も、キーの抜き忘れ警報やヘッドライトの消灯忘れ警報などに用いられているので、これを共用することができる。

【0020】一方、本実施形態に係る芳香装置2は、吸込口21aおよび吐出口21bが形成されたケーシング21内に芳香剤Lを収納するタンク22と、タンク22内の芳香剤Lを吸引して噴霧するポンプ23と、霧化さ

れた芳香剤Lを含む空気を室内へ供給するためのファン24およびモータ25とを有している。そして、室内へ芳香剤Lを噴霧する際は、ポンプ23にて芳香剤Lを吸引して噴霧しながら、ファン24を作動させることで、吐出口21bから芳香剤Lを含む空気が供給されることになる。ただし、図2に示す芳香装置2の構造は単なる一例であって、本発明の操作対象となる芳香装置はこうした構造のものにのみ何ら限定されることはない。

【0021】なお、受信器12の出力部127の接続端子には、芳香装置2のポンプ23およびファンモータ25の端子が接続されており、送信器11のONスイッチ111を押すとポンプ23およびファンモータ25が作動して、室内へ芳香剤Lを噴霧するとともに、送信器11のOFFスイッチ112を押すとポンプ23およびファンモータ25が停止して、室内への芳香剤Lの噴霧を停止する。

【0022】次に作用を説明する。室内に芳香剤を噴霧すると確かに異臭が気にならなくなるが、芳香剤が強すぎると逆にその芳香剤の臭いに不快感をおぼえる。本実施形態の車両用遠隔操作装置1では、乗車する何分かに前に送信器11のONスイッチ111を押して、車載された芳香装置2のポンプ23およびファンモータ25を作動させ、室内へ芳香剤Lを噴霧しておく。あるいは、エアコンを長時間使用するとエバポレータの凝縮水が腐って室内に悪臭を放つことも少なくないので、長時間駐車する際に、送信器11のONスイッチ111を押して、車載された芳香装置2のポンプ23およびファンモータ25を作動させ、室内へ芳香剤Lを噴霧しておく。

【0023】こうすることにより、乗員が乗車するときには芳香剤の臭いも適当なものとなっているので、芳香剤が強すぎることによる不快感を防止することができる。また、遠隔操作によって行えるので、いちいち駐車場まで出向く必要もない。

【0024】なお、以上説明した実施形態は、本発明の理解を容易にするために記載されたものであって、本発明を限定するために記載されたものではない。したがって、上記の実施形態に開示された各要素は、本発明の技術的範囲に属する全ての設計変更や均等物をも含む趣旨である。

【0025】たとえば、芳香装置2に適用するに際して、異なる臭いを放つ複数の芳香剤Lをそれぞれタンクに収納しておき、送信器11のスイッチを選択することで、所望の臭いの芳香剤Lを室内に噴霧するようにしても良い。

【0026】また、送信器11の送信回路113および受信器12の受信回路122を双方向送受信回路とし、芳香装置2のタンク22に液面センサを設けて、この液面情報を受信器12を介して送信器11側へ送り、この送信器11に設けられたLEDなどを点滅させることで芳香剤Lの残量が少なくなったことを知らせるようにし

でも良い。

【0027】また上述した実施形態では芳香装置2を遠隔操作の対象としたが、本発明の遠隔操作装置は脱臭装置にも適用して好ましい。

【0028】

【発明の効果】以上述べたように本発明によれば、乗車する前または後にその車載装置を作動させておけば、乗車する際には室内が十分に脱臭または芳香されることになる。したがって、乗車時に異臭を感じたり、あるいは乗車後に芳香剤が強すぎて不快感をおぼえたりすること

を防止できる。
【0029】また、車載装置側の検出信号を送信器側へ発信して表示することで、乗車していなくとも脱臭または芳香機能の有無を認識することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の車両用遠隔操作装置の実施形態を示す概念図である。

【図2】本発明の車両用遠隔操作装置の実施形態を示すブロック図である。

【符号の説明】

1…車両用遠隔操作装置

11…送信器

111…ONスイッチ

112…OFFスイッチ

113…送信回路

114…アンテナ

115…電池

12…受信器

121…アンテナ

122…受信回路

123…入力部

124…CPU

125…ROM

126…RAM

127…出力部

2…芳香装置（車載装置）

21…ケーシング

22…タンク

23…ポンプ

24…ファン

20 25…ファンモータ

【図1】

図 1

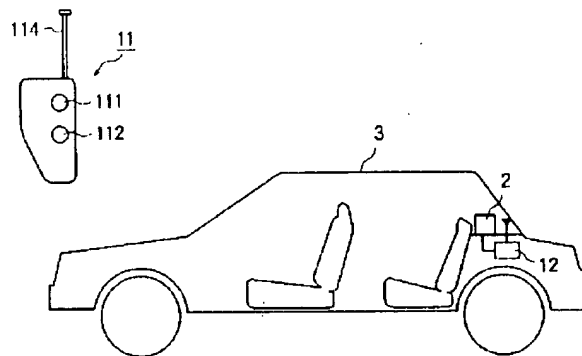
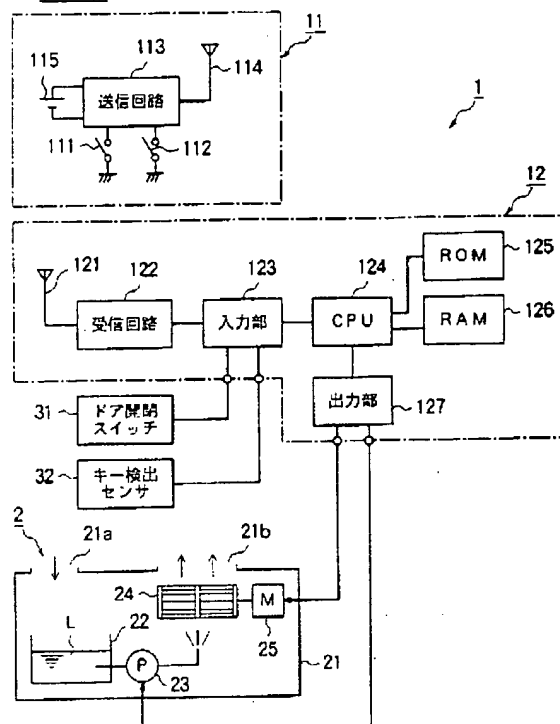


图 2



PAT-NO: JP02000060949A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2000060949 A

TITLE: REMOTE CONTROL DEVICE FOR VEHICLE

PUBN-DATE: February 29, 2000

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

YAJIMA, TOSHIO

COUNTRY

N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

CALSONIC CORP

COUNTRY

N/A

APPL-NO: JP10235384

APPL-DATE: August 21, 1998

INT-CL (IPC): A61L009/00, B60R025/00 , B60R025/10 , E05B049/00

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To make a cabin comfortable before riding by receiving an operating signal from a transmitter, and outputting a driving command signal to an on-vehicle device having a deodorizing function and/or an aromatic function in response to the operating signal.

SOLUTION: An ON switch 111 of a transmitter 11 is turned on some minutes before riding. Whereupon, a transmitting circuit 113 converts an input operating signal with self-inherent ID code data into a radio signal and transmits the same from an antenna 114. The operating signal is received by an on-vehicle receiver 2, processed by a central processing unit CPU 24, and a driving command is output to an on-vehicle aromatic device 2 through an output part 127. Then, a pump 23 and a fan motor 25 are operated to atomize

an

aromatic L in a tank 22. Thus, the cabin can be put in the
comfortable
condition before riding. //

COPYRIGHT: (C) 2000, JPO